

220327 農経学会ミニワークショップ

農林水産政策研の入口・中身・出口

農林水産政策研 高橋克也



政策研の概要

- 農林水産政策研究所 (Policy Research Institute, MAFF; PRIMAFF)
- 農林水産省の唯一の社会科学系研究機関。経済学や経営学、社会学等による課題解決
- 国際、食料、農業・農村領域の研究3部門、約50名の研究者が在籍
- うち女性研究者10名、プロパー採用(総研含む)32名、博士号取得者32名
- **課題別にチーム設置**(現在33)、研究員は横断的に配置



大学院生等に関するアンケート調査

- ・2022年8～9月、農業経済学系の関係大学に調査協力を依頼
- ←研究志望院生の規模や研究分野が不明、政策研募集への要望等を調査
- 23大学・大学院からご回答（**ご協力に感謝します！**）

（結果概要）

- ・大学院生180名以上在籍、うち研究志望51名（日本人）
- （政策研への要望）定期的な採用を、応募期間が短すぎ、採用実績が不明
- 採用実績公表（当所HPにて公開中）、JREC-INでの公募も

政策研への入口

- ・現在、公務員試験での採用実績なし。
- ・**応募での博士号不要(相当する経験・実績)**
- ・任期付採用(任期3年):大学院修了後～30歳前後前
- ・選考採用(研究官、主任研究官):任期後、既卒社会人など～40歳前後
 - ←**准教授クラスの方も応募可(セカンドキャリアとして)**
 - …他リサーチアシスタント、インターン等での研究アルバイトを募集
- ・独法等からの人事交流、行政部門からの人事異動

大学・他研究機関との連携

- ・連携研究スキームにより、大学側との研究交流が活発化
- ・現在8課題：食料安保、食料消費、水産輸出、農業環境、国際市場、総合評価、企業価値、農福連携
- ・予算規模：@1,000万円/年

キャリアアップの支援

- ・研究マインドのある本省職員をコンサルティング・フェローとして指導・支援
- ・職員と組織の専門性向上

政策研の強みとは？

- ・ゼミ・授業等がなく**研究業務に専念**、事務的な作業も少ない？
- ・**研究費が潤沢** (@300万円)、勤務地**東京のみ**、テレワーク等の**勤務自由度大**
- ・他に**科研費** (R3年度実績:30課題) → **大学時代の研究継続可**
- ・研究を通じた政策貢献を体感できる！

キャリアパス・出口

- ・**他研究機関** (民間シンクタンク、独法等研究機関) との交流
- ・本省行政部局、他省庁、**海外国際機関** (OECD、FAO等) 出向・派遣
- ・**海外留学** (コーネル大、ワーゲニンゲン大他) 国内大学 (派遣・出向、転職)

今後の重点分野・手法・キーワード(例)

- ・経済学関連(行動経済学、実験経済学、進化経済学、開発経済学、ナッジ、EBPM、ビックデータ、マーケティング、消費者行動論、流通論)
- ・農村社会学関連(食文化、ツーリズム、観光資源・政策、地域振興)
- ・その他(農産物・食品流通、食料貿易、農村資源環境、動物福祉、森林政策、水産経営経済、生物多様性、生態系サービス)
- ・みどりの食料システム戦略(SDGs、ESG、有機農業、低炭素社会、イノベーション、DX)